

【中小企業者収益力強化補助金事務局提出用】

経営計画

① 応募者の概要

(フリガナ) 名称 (商号又は屋号)		カブシキガイシャエヒメセイニクテン 株式会社愛媛精肉店												
代表者職・氏名		代表取締役 愛媛太郎												
所在地		(〒123-4567) 愛媛県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号												
電話番号		123-456-7890												
法人番号 (13桁) (法人の場合記載)		1	2	3	4	5	6	7	8	9	1	2	3	4
自社ホームページのURL (ホームページが無い場合は「なし」と記載)		https://hp-ehimeseinikuten.or.jp												
主たる業種 ※1		【いずれか一つを選択してください】 <input type="checkbox"/> 製造業 <input type="checkbox"/> 建設業 <input type="checkbox"/> 運輸業 <input type="checkbox"/> 卸売業 <input type="checkbox"/> サービス業 <input checked="" type="checkbox"/> 小売業 <input type="checkbox"/> その他の業種 (上記以外)												
常時使用する 従業員数 ※2		9人				事業者の区分 ※3				<input checked="" type="checkbox"/> 中小企業者 <input type="checkbox"/> 小規模事業者				
資本金額 (会社以外は記載不要)		300万円				設立年月日 (西暦) ※4				2000年1月1日				
消費税の適用		【いずれか一つを選択してください】 <input checked="" type="checkbox"/> 課税事業者 <input type="checkbox"/> 免税事業者 <input type="checkbox"/> 簡易課税事業者												
連絡 担 当 者	(フリガナ) 氏名	エヒメ ハナコ 愛媛 花子				役職				取締役				
	電話番号	123-456-7891				携帯電話番号				123-4567-8901				
	FAX 番号	123-456-7891				E-mail アドレス				ehime-hanako@hojyokin.jp				

- ※1 日本標準産業分類における業種 (直近1年間の売上が最大の事業) を選択してください。
 ※2 申請時点の労働者名簿に基づき、記載してください。なお、常時使用する従業員がいない場合は、「0人」と記載してください。
 ※3 中小企業・小規模事業者の定義は、公募要領の2ページを参照してください。
 ※4 「設立年月日」は、創業後に組織変更 (例: 個人事業者から株式会社化、有限会社から株式会社化) された場合は、現在の組織体の設立年月日 (例: 個人事業者から株式会社化した場合は、株式会社としての設立年月日) を記載してください。

② 加点項目の確認

<パートナーシップ構築宣言> パートナーシップ構築宣言の登録事業者であるか。 【いずれかを選択してください】	<input checked="" type="checkbox"/> 宣言している	<input type="checkbox"/> 宣言していない
<事業継続力強化計画> 事業継続力強化計画の認定事業者であるか。 【いずれかを選択してください】	<input checked="" type="checkbox"/> 認定されている	<input type="checkbox"/> 認定されていない
<愛媛県リーディングチャレンジ企業> 愛媛県リーディングチャレンジ企業の認定企業であるか。 【いずれかを選択してください】	<input type="checkbox"/> 認定されている	<input checked="" type="checkbox"/> 認定されていない

③ 補助事業計画書

事業計画名	<p>【補助金で実施する事業内容を分かりやすく記載してください（30文字以内）】 ※採択時に公表します</p> <p>精肉の自動スライサー導入による高付加価値生産体制構築</p>
事業の分類	<p>【いずれかを選択してください（複数可）】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>生産性向上（業務効率化） <input type="checkbox"/>新事業展開 <input type="checkbox"/>その他</p>
補助事業の実施場所	<p>【設備投資を行う事業所名及び所在地を記載してください】</p> <p>株式会社愛媛精肉店店舗（愛媛県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号）</p>
自社の概要	<p>【事業概要や市場動向、経営課題等を記載してください】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業概要 当店は、愛媛県〇〇市に店舗を構える地域密着型の精肉店であり、和牛・国産牛・国産豚・国産鶏を中心に、店頭小売および飲食店向け業務用卸を行っている。創業以来、対面販売を通じたきめ細かな接客と、用途に応じたきめ細かなカット対応を強みとして、地元の一般家庭から飲食店まで幅広い顧客に支持されている。最近では、惣菜・焼肉セット・しゃぶしゃぶ用スライスなどの簡便商品も拡充し、客単価向上とリピーター獲得を図っている。 ・市場動向 共働き世帯の増加により家庭での調理時間短縮ニーズや、高齢者の健康・ヘルシー志向が高まっており、「味付け済み」「焼くだけ」「鍋に入れるだけ」といった簡便・時短商品への需要、高たんぱく・低脂質の赤身肉等への需要が拡大している。また、精肉はスーパーやドラッグストアなどとの価格競争が激しくなる一方で、地元産や銘柄肉など、品質重視のプレミアム層も一定数存在し、「信頼できるお肉屋さん」でまとめ買いをする顧客も増えている。 ・経営課題 当店の強みは、①顔の見える対面販売による接客力、②用途に応じたきめ細かなオーダーカット対応、③焼肉・しゃぶしゃぶ・BBQなどのセット商品企画力、④地元飲食店との継続的な取引関係である。一方で、生産性の面では、薄切り・焼肉用・唐揚げ用などのポーションカット工程が手作業に強く依存しており、ベテラン職人の技術に頼った体制となっている。具体的には、1日あたりのスライス・カット作業の多くを限られた熟練従業員が担っており、一人当たりの処理量に限界があるうえ、繁忙期には残業や家族の応援で乗り切っているのが実情である。近年は最低賃金の引上げや人手不足の影響でパート・アルバイトの確保が難しくなり、人件費負担も増加している。また、焼肉・BBQ シーズンや盆・正月の繁忙期には、需要に対して加工が追いつかず、十分な量を仕込めないことから販売機会を逃している場面もある。さらに、薄切りや唐揚げ用カットは、カット厚さや大きさのバラつきによって調理のしやすさや見栄えに影響が出るため、ベテランの勘に頼らざるを得ず、若手スタッフへの技術継承が思うように進んでいない。 <p>上記を踏まえ、当社の経営課題は、生産工程のボトルネックであるポーションカット工程を標準化のうえ、より付加価値の高いセット商品増産による生産性向上を第一に掲げる。</p>
補助事業の内容	<p>【経営課題等を踏まえた設備投資の内容や実施体制、実施スケジュール等を記載してください】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備投資の内容 本補助事業では、精肉のスライス・ポーションカット工程を自動化するため、精肉店向けの自動スライサー等（投資額：税抜400万円）を新規導入する。[①自動スライサー本体350万円（税抜）、②同設備の設置工事50万円（税抜）] 導入予定機は、肉の厚み・重量を設定することで、しゃぶしゃぶ用・すき焼き用・焼肉用・生姜焼き用など用途別のスライスを一定の厚みで高速に処理できる業務用自動スライサーであり、1時間あたりの処理能力を現状の約1.3～1.5倍に引き上げることを目標とする。これにより、現在はベテラン従業員が手作業で行っているスライス・カット作業の約6～7割を機械

	<p>加工に置き換え、手作業はオーダー品や特殊カットに集中させる体制とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施体制 <p>統括責任者を代表の愛媛太郎とし、現場責任者の愛媛次郎が生産管理、新商品開発、補助事業効果測定を担当する。技術責任者の愛媛三郎が、機械メーカー又は販売店から操作研修を受けたうえで、誰でも一定レベルで操作できる体制を整える。経理責任者の愛媛花子が、補助事業の経理・実績報告を中心となって実施する。適宜、〇商工会の助言を受け、円滑な事業実施に努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スケジュール <p>交付決定後の7月に発注、8月に納入・設置、9月に試運転を実施する。10月に操作研修・試作を行い、冬の繁忙期（11月）までに本格稼働、12月に効果測定・実績報告を行う計画とする。その間、既存の手作業工程と並行稼働させながら、製品の厚み・見栄え・重量精度を確認し、必要に応じて設定を微調整する。補助事業期間内に、スライス・ポーションカットの自動化ラインを安定稼働させ、生産性向上と残業時間削減の実績を確認する。</p>
<p>期待される効果</p>	<p>【補助事業の実施によって得られる効果の見通し（生産性向上、売上高の増加見込等）や賃上げの取組（常時使用する従業員がいる場合は必須）を記載してください】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業効果 <p>本事業の実施によって、以下のような生産性向上および収益改善効果が期待される。</p> <p>第一に、スライス・ポーションカット工程の人時生産性向上である。現在、薄切り・焼肉用などの加工に1日あたり延べ〇時間、常時〇名の人員を要しているが、自動スライサー導入により、同じ加工量を約6～7割の時間でこなせるようにし、人時当たり処理量を1.3～1.5倍に引き上げることを目標とする。これにより、繁忙期の残業時間を月〇時間程度削減し、年間の残業代を〇万円規模で削減することを見込む。</p> <p>第二に、歩留まり改善とロス削減である。手作業の場合、厚みやカットサイズのばらつきにより端材が発生しやすく、結果として原料ロスにつながっている。自動スライサーにより一定厚み・一定重量でカットすることで、1kgあたりの取れる枚数・歩留まりを改善し、原材料費の削減につなげる。例えば、年間の仕入原価が〇万円のうち、スライス・カット対象部分が〇万円とすると、歩留まり1～2%の改善で年間〇～〇万円程度の原価低減が期待できる。</p> <p>第三に、高付加価値商品への生産量向上である。上記の効果により生み出された生産余力を、より付加価値の高いセット商品（焼肉・しゃぶしゃぶ・BBQ用）や、新たに「共働きの核家族向けブランド牛〇〇牛を使ったおうち外食セット」、「健康志向の中高年向け健やかな毎日の活力を後押しするヘルシー赤身肉セット」など、需要が伸びつつある商品の開発に振り向け、客単価10%以上の向上につなげる。</p> <p>第四に、繁忙期の販売機会ロス削減と売上増加である。これまで加工能力の制約から作れなかったセット商品や、数量を絞らざるを得なかった特売企画について、スライサー導入により事前仕込み量を増やすことで対応可能とする。年間売上高〇万円に対して、スライス・セット商品の売上を〇%程度押し上げることで、年間〇万～〇万円規模の売上増加を見込む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・賃上げの取組 <p>スライサー導入により獲得した営業利益の上昇分と、削減された残業代や原材料費等の一部を原資として、パート・アルバイトの時給や正社員の基本給を段階的に引き上げる。現在、従業員の給与支給総額〇万円（残業代除く）であるが、導入後5年間で給与支給総額を基準年度比10%（年率2%）増加させることを目標とし、人材の確保・定着を図る。併せて、機械操作や衛生管理に関するスキルアップ研修を行い、多能工化を進めることで、処遇改善と生産性向上の両立を目指す。</p>

④ 収益計画書

(単位：千円)

	直近期末 (R7.12月期) 基準年度	計画第1期 (R8.12月期) 設備導入年度	計画第2期 (R9.12月 期)	計画第3期 (R10.12月 期)	計画第4期 (R11.12月 期)	計画第5期 (R12.12月 期)
① 売上高	300,000	300,000	310,000	320,000	330,000	340,000
② 売上原価	180,000	180,000	186,000	192,000	198,000	204,000
③ 売上総利益 (①-②)	120,000	120,000	124,000	128,000	132,000	136,000
④ 販売費及び 一般管理費	110,000	110,000	112,000	113,000	116,000	118,000
⑤ 営業利益 (③-④)	10,000	10,000	12,000	15,000	16,000	18,000
⑥ 人件費 (②、④の内)	30,000	30,000	30,600	31,000	31,500	32,000
⑦ 減価償却費	5,000	5,100	4,800	4,600	4,400	4,200
⑧ 付加価値額 (⑤+⑥+⑦)	45,000	45,100	47,400	50,600	51,900	54,200
⑨ 付加価値 増加率		0.2%	5.3%	12.4%	15.3%	20.4%
⑩ 従業員数	9	9	9	9	9	9

※計画期間は、3年（計画第3期）から5年（計画第5期）の任意で設定してください。

※⑤営業利益は、個人事業主の場合、青色申告決算書又は収支内訳書のうち、差引金額+利子割引料を指します。

※⑥人件費は、企業が従業員及び役員に対して負担する経費であり、給料、賃金、賞与及び役員報酬等に加え、福利厚生費や法定福利費、退職金を含みます。なお、個人事業主の場合、青色申告決算書又は収支内訳書のうち、福利厚生費+給料賃金を指します。

⑤ 経費明細書

(単位：円)

経費区分	内容・積算内訳	補助対象経費 【いずれかを選択してください】 <input checked="" type="checkbox"/> 税抜 <input type="checkbox"/> 税込
機械装置・システム導入費	自動スライサー (〇〇メーカー品番〇〇) ×1台	3,500,000
付帯工事費	上記設備に係る据付工事	500,000
① 補助対象経費合計		4,000,000
② 補助金交付申請額 【いずれかを選択してください】 <input checked="" type="checkbox"/> ①×補助率1/2 (円未満切捨て) ※中小企業者 <input type="checkbox"/> ①×補助率2/3 (円未満切捨て) ※小規模事業者		補助金交付申請額 2,000,000

※消費税の取扱いは、公募要領の8ページを参照してください。

⑥ 資金調達一覧

(単位：円)

区分	金額	調達先
自己資金	1,000,000	
借入金	1,000,000	〇〇信用金庫
その他		
補助金交付申請額	2,000,000	(自己資金) 1,000,000 (借入金) 1,000,000 (その他)
合計 (上記の補助対象経費の合計 と同額)	4,000,000	